

個人のエンパワメントによる 世界の分断と連携

2020-07-04 橋田浩一



東京大学大学院情報理工学系研究科
ソーシャルICT研究センター

パーソナルデータの管理運用

集中管理: 事業者にデータを集約

管理が集中するので危険: 1千万人のデータを1千万円以下で盗める

本人同意だけでデータが使えない

データが断片的で価値が低い

機微な個人情報が使いにくい

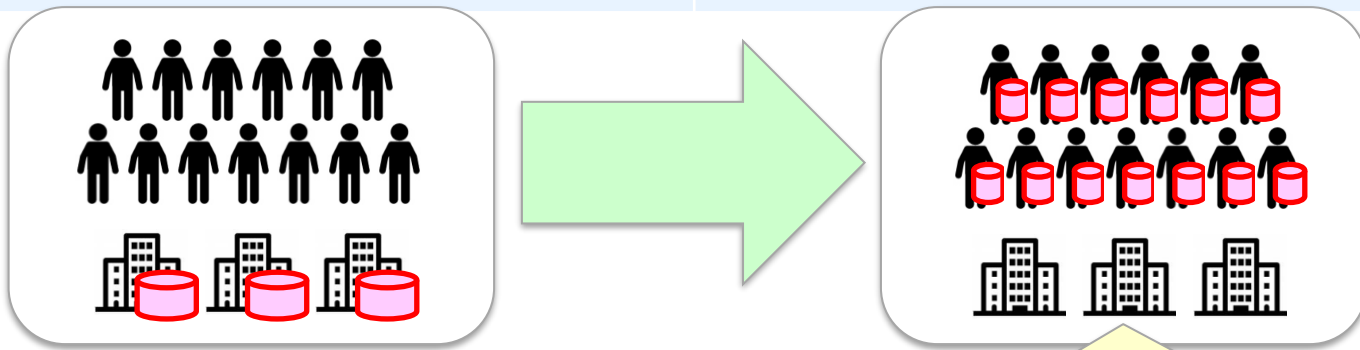
分散管理: 本人にデータを集約

管理が分散するので安全: 1人のデータを盗むのに1万円ほどはかかる

本人同意だけでデータが使える

データが名寄せされて価値が高い

機微な個人情報も本人が活用

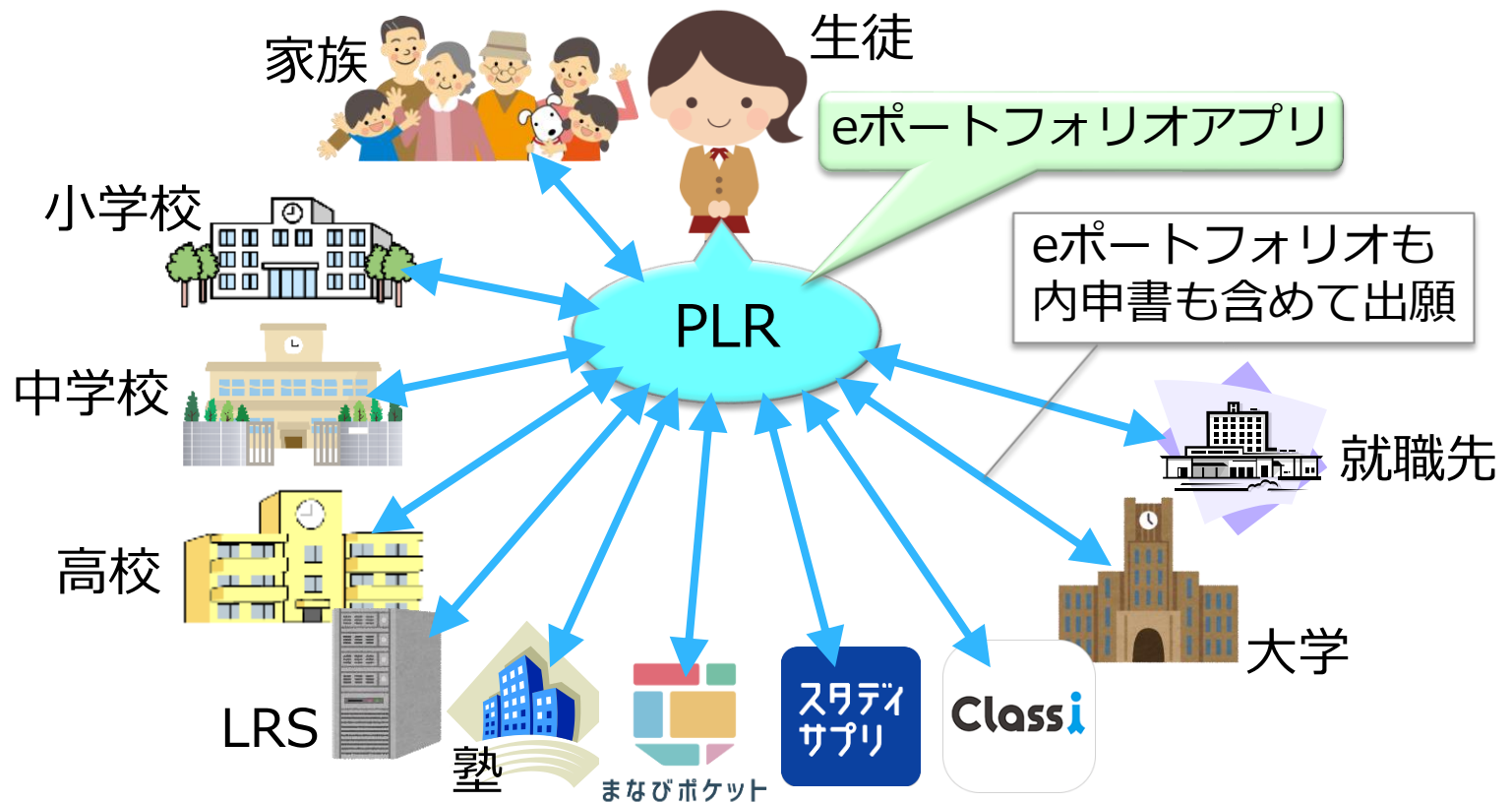


MyData: 本人主導のパーソナルデータ活用

- 全パーソナルデータを本人が自由に使う
- 事業者等も本人同意だけでパーソナルデータが使える

分散eポートフォリオ

- 2020年度からの新制度の大学入試で運用されるeポートフォリオ(電子学習記録)をPLRで実装
 - ◆ データポータビリティとセキュリティを確保
- データ活用の促進によるEdTech等の振興
- 埼玉県教育局が2020年度から実運用(12万人の高校生)



行政サービスマッチング

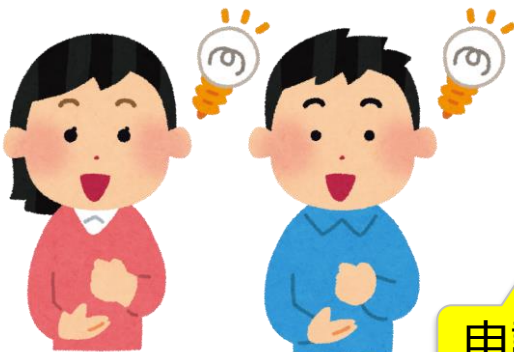


- ◆ どんなサービスを受けられるかわからない
- ◆ 調べるのが面倒
- ◆ 手続きも面倒

行政サービス

- 税の減免 ■ 保健・福祉
- 健康保険 ■ 介護保険
- 子育て ■ 市営住宅
- 就業補助
- + 多様な手続き

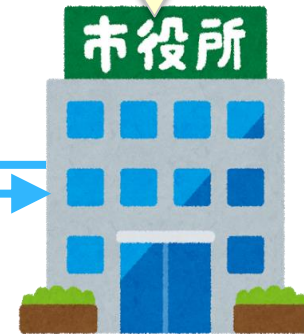
個人のデータと行政サービスをマッチング



行政サービスのカタログ

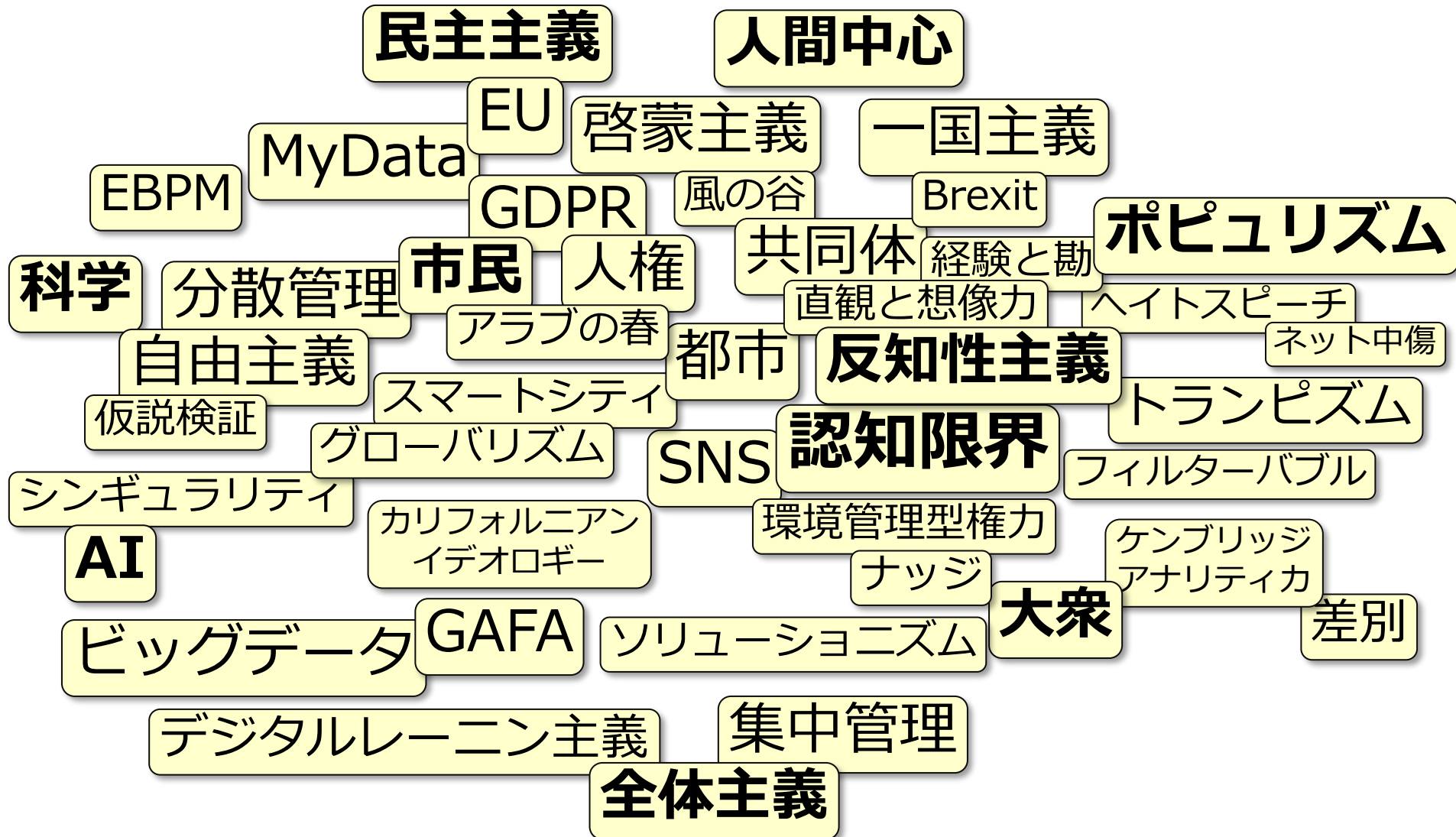
申請書等

申請書等の作成

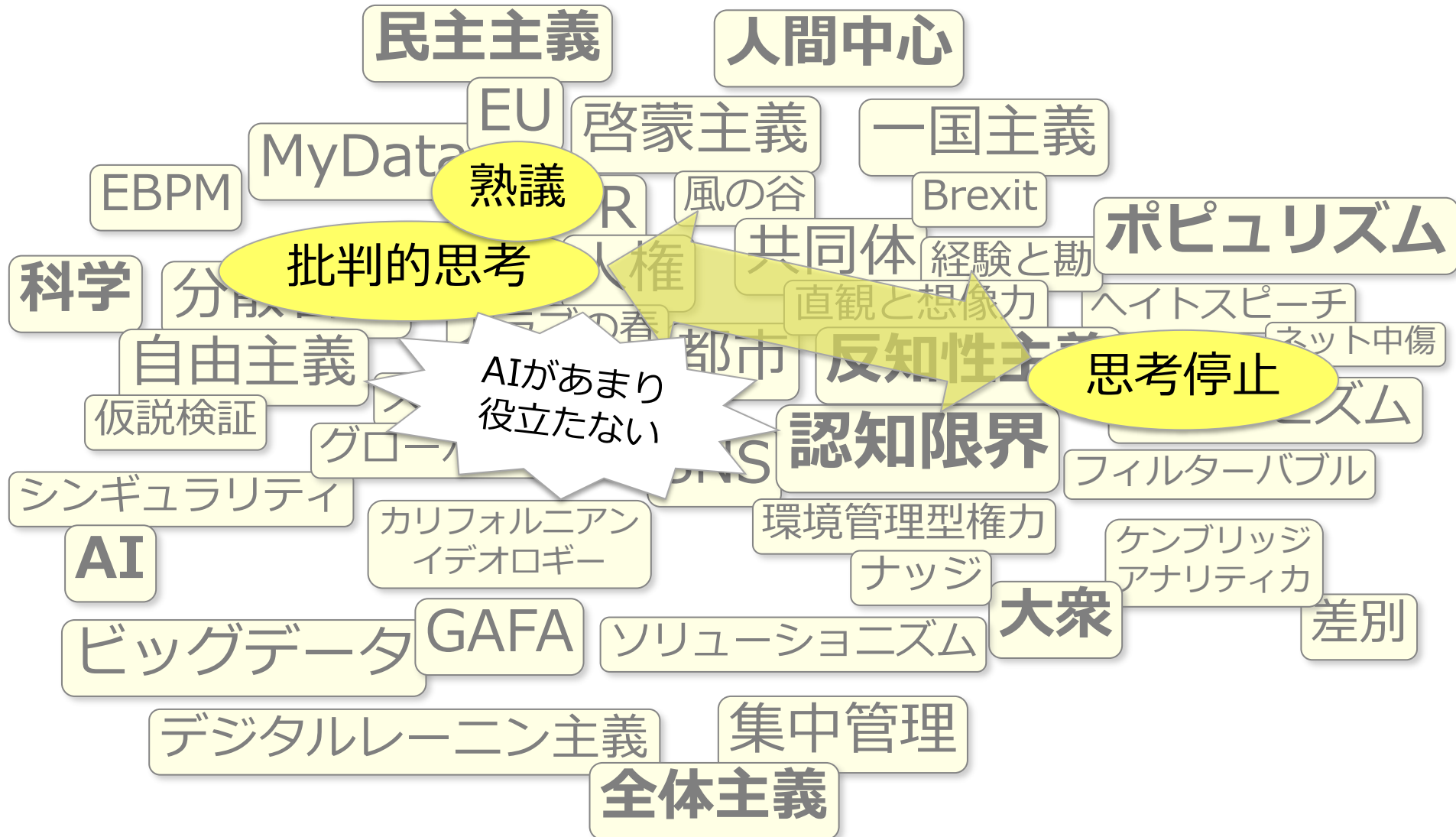


地域の商品やサービスをカタログに含めれば
地域メディアータとして産業振興等も図れる

インターネットによる 個人のエンパワメントと世界の分断



人間中心の自律分散協調型社会へ



セマンティックオーサリング

- 図式がテキストより作りやすく理解しやすいことは既知
- 従来の文書の内容を完全に表現可能なグラフ型文書
 - ◆ 批判的思考力の向上
 - ◆ 熟議(情報共有と合意形成)の効率と精度の向上
- SNSとして普及させる

